

説教題：OIC 会員契約

主要聖句：ヘブル人への手紙 10:24 - 「また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。」

おはようございます。OIC、記念日おめでとうございます！今日は、1974年10月13日に当教会が最初の礼拝を捧げてから51周年を迎えることを祝います

私が今日、メッセージを始める前に、大阪インターナショナルチャーチの歴史について、そして私自身の歴史についても少しお話ししたいと思います。OICの歴史は、1970年大阪で開催された万博の時に始まったと、皆さんは言われるかもしれませんが。その万博で、ある日本人のクリスチャンたちが、キリスト教館を主催しました。多くの外国人クリスチャンたちがその展示場を訪れ、そして大阪に英語で礼拝ができる、英語を話す教会があるのかどうかを尋ねました。その答えは「ありません」でした。1970年代に戻りますが、その時、大阪の地域に英語の教会はありませんでした。ピーター岡山と言う日本人牧師は、彼らのキリストにある兄弟姉妹から、この願いを聞きました。彼ともう一人、斎藤ツギオという男性は、英語で礼拝し交わるための場所を大阪で暮らしている海外からのクリスチャンたちに提供したいという願いがありました。彼らは、岡山牧師の友人で、アメリカに住んでいるジャック・マーシャル師と、このビジョンを分かち合うために訪問しました。ジャックさんは、日本で宣教師でしたし、短期間、関東で2つの英語の教会を牧会する経験を持っておられました。ジャック牧師は、この訪問に興奮しました。大阪を訪問し、多くの祈りの後、彼は、この新しいインターナショナルの信徒の集まりを牧会する召しを受け入れました。1974年に、ジャックさんと妻のジェリーさんは、ここに引っ越しました。そして、その年の10月13日に最初の礼拝が持たれました。彼らのために会議室を提供したロイヤルホテルで行われました。最初の讃美歌は「神に栄光あれ」でした。今日、私たちは、それを歌いました。

私が初めて大阪インターナショナルチャーチを訪れたのは、ジャック・マーシャルがOICの牧師を引退した1992年のことでした。当時は、都ホテルで礼拝がなされていました。私は、ここに1990年代から2000年代までの日曜日の週報のコレクションを持っています。そしてこのスクリーンに二つの週報が見えるでしょう。1990年代初期、私達の週報は、二つの聖書箇所、つまりエペソ2:19と5:19と共に都ホテルの写真が特徴となっていました。

エペソ人への手紙 2:19 を読みましょう - 「こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、今は聖徒たちと同じ国民であり、神の家族なのです。」

その聖句は、私は本当に私の心に弾きます。その理由は、私が初めて大阪に来た時、私は、ここではよそ者であり、外人だと感じ、そして OIC で神の民と共にいられる教会を見つけたからでした。

年に初めて大阪に来たとき、私はクリスチャンの交わりに飢えていました。海外旅行もたくさんしたし、日本の片隅で宣教活動もしたことがありました。大阪に定住することを熱望していた私は、大阪に来て高校で英語を教える仕事を見つけました。そのころ、大阪府に3つの英語の教会がありました。大阪での最初の2年間に、それらの3つを訪ねました。私が一番じっくり来たのが、大阪インターナショナルチャーチでした。OIC で私が見つけたものは、私の世界旅行中に様々な教会を訪ねた時に見つけたものに似ていました。世界旅行中に私が見つけた注目すべきことは、私が行くどこでも同じ考えの人々を見つけることができたことでした。私が訪ねた教会で、私と同じ信仰、同じ価値の兄弟姉妹を見つけたからです。たとえ宗派を超えてもです。神の言葉に立っている伝道的な人々や、ニケア信条そして私たちの教会の信仰声明にはあるこれらの概要のような原理主義的なキリスト教教義に立っている人々の間にでも、宗派による意見の相違よりも、はるかに多い一致があります。OIC で目にしたものに私は心から感銘を受けました。教義においては徹底した福音主義でありながら、様々な宗派のクリスチャンを寛容に受け入れる教会でした。

私たちの教会憲章の冒頭の言葉をお読みしたいと思います：「前文:大阪地域に住む英語を話すプロテスタントのクリスチャンのグループは、イエス・キリストに従う者たちが相互の励まし、公の礼拝、積極的な奉仕のために交わりを交わすことが神の御心であると信じて、団結して大阪インターナショナルチャーチを組織しました。…」

私たちの教会の設立者は、イエス・キリストに従う者達は、3つの目的のために結び合うべきことが神の御心だと信じていました。互いの励ましのため、公の礼拝のために、活発な奉仕のために。互いの励ましのため、公の礼拝のために、活発な奉仕のために。昨年、私は創立記念礼拝で説教を捧げ、創立者たちが極めて重要と考えた教会生活の三つの主要な特徴について皆様に説明しました：互いの励ましのため、公の礼拝のために、活発な奉仕のために。

今年の今日のメッセージでは、教会契約の別の部分、すなわち OIC の新規会員が遵守を誓約することが期待される会員の契約に焦点を当てたいと思います。数ヶ月前、私たちは新たな教会メンバーを迎える式典を行いました。もしその場にいらっしゃったなら、ステージ上でこの契約を唱和する彼らの姿をご覧になったかもしれません。間もなく新たな会員を迎える式典が再び行われるかもしれません。そこで本日は、私たち全員が会員契約を改めて見つめる良い機会だと考えました。この規約に加え、教会契約には「会衆の応答」の文言も含まれています。これは現会員が新会員を支えると契約するものです。本日は会員契約と会衆の応答の両方について考察したいと思います。古参会員の皆様には、かつて誓った会員の契約と、新会員を迎える度に交わす会衆の応答を改めて思い起こしていただければ幸いです。新会員や入会希望者の皆様には、OIC における教会会員としての期待が具体的に何であるかを学んでいただければ幸いです。この契約は、私たちの教会の創設者た

ちが受け継いでくれた遺産です。会員としての期待について、私たち全員が改めて深く考えることが大切でしょう。

教会憲章第3条に定められた、当教会の会員契約<sup>1</sup>を朗読いたします：

「神の豊かな恵みと、我らの主なるイエス・キリストの偉大なる救いの御業に感謝し、ここに主の御心を求め、悟り、全力を尽くして神の御国を広げる働きに携わることを誓います。」

「イエス・キリストとその教えを、私の信仰における最高の手本とし、また聖書は人類に対する神ご自身の現代における啓示の現れであると信じ、主イエス・キリストを誠実に愛するすべての方達と交わることを求め、主の御教えの基準を受け入れ、新約聖書の教えに則り生活することを誓います。」

「教会の祝福ある成長は、個々の会員の献身によるものであると認め、礼拝に出席し、支援を惜しみなく施し、教会の平和と調和を保つために労し、すべてにおいて財政面かつ霊的側面の繁栄に尽くすことを誓います。」

そして会衆の成員は、以下の応答をすべきです：

会衆応答文：

「大阪インターナショナルチャーチファミリーの会員である私たちは、あなたを私たちの交わりに歓迎します。あなたのために祈り、できる限りあなたの支援に努めます。この地上におかれている間に、そして天国においての聖徒たちとの最高の交わりにむけて、神が私たちを、愛し愛され、仕え仕えられ、祝福し祝福されるよう整えて下さるように祈ります。」

会員契約の各条項を詳しく見ていきましょう。

**神の豊かな恵みと、主イエス・キリストによる救いの大いなる賜物に感謝しつつ、…**

神の豊かな恵みに感謝します。神は私たちの基本的な必要を満たすだけでなく、しばしばそれ以上の恵みを与えてくださいます。詩編 100:4-5 - 「4 感謝しつつ、主の門に、賛美しつつ、その大庭に、はいれ。主に感謝し、御名をほめたたえよ。5 主はいつくしみ深くその恵みはとこしえまで、その真実は代々に至る。」

**主イエス・キリストを通して与えられた神の偉大な救いの賜物に感謝しつつ…**

神は人類を御自身との交わりを楽しむために創造されました。しかしアダムとエバは神に背き、罪に陥り、人類と神との関係を断ち切りました。しかし神は救いの道と、創造主との関係回復の道を用意されました。それは御子イエス・キリストが十字架上で私たちのために捧げられた犠牲を通してです。初期の使徒たちは、イエス・キリストの御名によってのみ救われると宣言しました。これがキリスト教会のメッセージです。使徒の働き 4:12  
「また、救いはこの方以外にはありません。天の下で、救いを得るべき名として、人の子らに与えられたのは、この方だけだからです」。ヨハネの福音書 3:16-17 「16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひ

---

<sup>1</sup> OIC 憲章の日本語訳では、英語の「Covenant」を「誓約」と訳しています。しかし、聖書の日本語訳では、創世記や聖書の他の箇所でのこの語が登場する際に「契約」という語を用いています。したがって、この説教の日本語訳では、英語の「covenant」を「契約」と訳しています。

とりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。17神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。」

神の豊かな恵みと、主イエス・キリストによる救いの大いなる賜物に感謝しつつ、ここに契約します…

「契約」という言葉があります。「契約」とは何でしょうか。ペイカー聖書事典におけるその定義を引用しましょう：

契約。相互の義務を伴う二者間の取り決め…契約は聖書の中心的な主題の一つであり、人間同士の契約もあれば、神と人間との契約もある。…

したがって契約とは、信頼と責任と利益に基づく人間関係の枠組みであり、個人的な友情から国際貿易協定に至るまで、ほぼあらゆる人間関係に広く適用される。聖書において契約はまた、個人と神との関係を包括的に示す最も包括的な概念でもある。

聖書ではこの概念が頻繁に登場し、ほとんどの場合、それは私たちと神との関係を指しています。しかし今日のメッセージでは、人間同士、つまり地元の教会におけるキリストにある兄弟姉妹の間で結ばれる契約について見ていきます。同じ地域に住むクリスチャンたちが教会という交わりに集うことは重要です。多くの教会では、会員となるために同意が求められる「教会契約」を設けています。先ほど読んだように、契約とは「相互の義務を伴う二者間の取り決め」です。相互の義務。そして契約は「信頼、責任、利益からなる人間関係の枠組み」でもあります。信頼…責任…利益。OICの会員契約の各項目を検討するにあたり、これらの点を心に留めておきましょう。

ここに約束します。私は神の御心を知り、それに従うよう努めるとともに、キリストの御国の益を可能な限り促進することを約束します。

この教会の会員として私たちが誓う最初の二つのことは、神の御心を知り、それを実行しようと努めること……そして、できる限りキリストの御国の益を促進することです。

神の御心を知り、それを実行するよう努めなさい。神の御心を知るためには、それが何であるかを明らかにする必要があります。その最善の方法は、神の言葉である聖書を読むこと、あるいは教会で説教や聖書研究を通してそれを聞くことです。多くの人々は、自分の人生の特定の領域における神の御心を知ろうとします——この仕事に就くべきか、あの仕事に就くべきか、この人と結婚すべきか、あの人と結婚すべきか、といったことです。人生の特定の瞬間にそれを知ることは重要ですが、私たち一人ひとりに対する神の御心の大部分は、ここに記された聖書の中に含まれています。聖書は、神の行動に関する基本的な基準を説明しているのです。

ジョン・マッカーサー著『見つけた！神の御心』という素晴らしい小冊子を持っています。彼は聖書から、神の民に対する神の御心が明らかに示されている五つの事柄を概説しています。その五つの原則は以下の通りです：神は私たちが救われることを望んでおられます

(テモテへの手紙 第一 2:3-4)、聖別されることを望んでおられます (テサロニケ人への手紙 第一 4:3-4)、聖霊に満たされること (聖霊に満たされること、エペソ人への手紙 5:17-18)、正当な権威に従順であること (ペテロの手紙 第一 2:13-15)、そして苦難を受けること (必要ならばクリスチャンとして喜んで苦難を受けること、ペテロの手紙 第一 4:19) です。これらの聖句を調べれば、それぞれが「これが、私たちに望まれる神の御心である」と述べていることがわかります。これは神の御心の全てではありませんが、基本的な土台です。この五つの原則に従っていれば、あなたは良い歩みをしていると言えるでしょう。聖書が神の御心について語る内容についてさらに学びたい方は、2023年6月にこのテーマで行った説教をご覧になるか、ジョン・マッカーサーの著書をオンラインで探されることをお勧めします。

そして、数ヶ月前にヤコブの手紙第一章について語った時の私の言葉をどうか思い出してください。ヤコブ 1:22 – 「また、みことばを實行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であってははいけません。」 神の御言葉が語っていることを知り、実行しなさい。

ここに約束します。私は神の御心を知り、それに従うよう努めるとともに、キリストの御国の益を可能な限り推進することを約束します。

キリストの御国の利益を可能な限り推進すること。先週教会の契約書を読んでいた時、この表現が、私たちがキリストの御国や神の御国について語る際に慣れ親しんだ言葉ではないことに気づきました。そこにはこう記されています：「キリストの御国の益を推進すること」。「益」とは一国や政府には「利益」、すなわち自国の国益があり、それを達成するために懸命に努力します。神の王国にも益がある。それは、人間が背きの道から立ち返り、創造主との関係を回復することです。神が御子イエス・キリストを遣わされたのは、私たちのために救いの道を備え、御国をもたらすためでした。そしてマタイ 28:18-20 で、すべての国々を弟子としなさいと命じられました。ピリピ 3:20 は「私たちの国籍は天にあります。」と述べ、コリント人への手紙 第二 5:20 では「キリストの使節」であると告げられています。この世に主イエス・キリストを代表し、福音の良き知らせを分かち合うことが私たちの責任なのです。

神の国とイエス・キリストの福音についてさらに知りたい方は、来週午前9時からのキリスト教教育の時間にご参加ください。来週はそのテーマに関するビデオを視聴する予定です。

イエス・キリストとその教えを私の信仰の最高基準として受け入れ、聖書を神がご自身を人間に段階的に啓示されたものとして受け入れる、

あなたはイエス・キリストをあなたの主であり救い主として受け入れましたか？ あなたは彼の教えを信仰の最高の基準として受け入れていますか？ あなたは聖書を神がご自身を人類に啓示されたものとして受け入れていますか？ もしあなたが自らを「クリスチャ

ン」と呼ぶなら、あなたは主イエス・キリストの従順な弟子として自らを位置づけているのです——つまり、私たちが言うところのキリストの「弟子」なのです。「弟子」とは、特定の教えや特定の教師に従う者を指します。私たちの場合、その教師はイエス・キリストです。新約聖書のページには、福音書に記録された主の教えの要点が記され、使徒たちが書いた手紙の中でさらに詳しく説明されています。この教えを信仰の最高基準として受け入れたでしょうか？それが「クリスチャン」であることの全てです。信仰と悔い改めの道を歩み、聖書に記された教えに従うことなのです。

イエスはマタイの福音書 28 章 19-20 節で、弟子たちに「大宣教命令」を与えられました。—「19 それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを受け、20 また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

弟子を作りなさい。彼らにバプテスマを受けなさい。そして、主が彼らに教えられたすべてのことを彼らに教えなさい。私たちは、主が教えられたすべてのこと、使徒たちが新約聖書に書き記したすべてのことに従うべきです

聖書は「神が人間に対して自らを段階的に啓示したもの」とであると言います。この驚くべき世界を見るだけで、創造主としての神について幾つか学ぶことができます。しかし、神を真に知るためには、神ご自身からのさらなる啓示が必要です。聖書とはまさにそれ、すなわち神が自らを私たちに啓示したものです。初め、神はいくつかの重要なことを啓示されました。そしてノア、アブラハム、モーセ、ダビデ、預言者たちの時代を経て時が流れるにつれ、より多くの情報が明らかにされていきました。これが「漸進的啓示」と呼ばれるものです——時が移るにつれ、神はご自身についてますます多くを私たちに示されるのです。聖書は今や旧約聖書と新約聖書という最終形態を成しています。

イエス・キリストとその教えを私の信仰の最高基準として受け入れ、聖書を神が人間に自らを啓示する漸進的な啓示として受け入れる者として、私は主イエス・キリストを敬虔に愛し、新約聖書に示された教えと行動の基準を受け入れるすべての人々と交わりを求めます。

私たちは同じキリスト者との交わりを求めます。これは重要です。学生の時に覚えた聖句、それはその時から、とても特別なものになっていますが、それを皆さんと分かち合わせてください。

ヘブル人への手紙 10:24-25 - 「また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。<sup>25</sup> ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。」

私たちは共に集まる必要があります。互いに励まし合うべきです。互いに「愛と善行に励まし合う」べきです。(愛と善行を促すように注意し合おう).

もっとお話しできればと思うのですが、教会の契約について見ていく必要があります。

## 教会の成功は、個々の会員の献身にかかっていることを認識し、…

**聖別。**この言葉は「神聖な」「聖化する」「聖なるものとする」といった語に関連しています。聖くなること、聖別されることは、神の目的のために「区別される」ことです。

「聖なる」の意味です。私たちは今や、この世とその墮落から切り離されています。私たちはこの世から区別され、神に聖別され、神を敬う人生を生きることにより自らを捧げているのです。

教会の成功は、その会員の献身にかかっています。そう、教会の成功はまた聖霊にかかっています…聖霊が私たちの生活の中で変革の御業を行われるようにすることです。もし私たちが神を敬い、聖霊に満たされた生活を送っていないなら、教会の霊的生活は妨げられ、キリスト教会の二つの重要な任務である個人的な弟子訓練と伝道において、私たちは前進することができないでしょう。

## 教会の成功は個々の会員の献身にかかっていることを認識し、私は約束します…

- その礼拝に出席し、
- その支援に貢献し、
- その平和と調和を維持するために労力を尽くし、
- あらゆる方法でその世俗的・精神的福祉を促進すること。

私たちの教会の礼拝に出席してください。礼拝に出席しなければ、互いに励まし合い、教会の教えを聞くことはほとんどできません。主に日曜礼拝を指しますが、聖書研究会や小グループ集会など、教会の他の集会も含む場合があります。人生の特定の時期には礼拝を欠席せざるを得ないこともあると理解しています。私自身、日本語学校に通っていた頃は月曜日から金曜日まで通い、土曜日と日曜日は仕事があったため、よく礼拝を欠席しました。しかし水曜日の聖書研究会や特別な行事には参加し、兄弟姉妹との繋がりを保ち続けました。どうか定期的に教会に出席し、教会の交わりの生活に積極的に参加してください。

私たちは教会を支えるために貢献すべきです。主に金銭的な支援ですが、教会の奉仕活動にボランティアとして時間を捧げることも貢献の一つです。毎週日曜日に、OICのいくつかの奉仕活動でより多くの働き手が必要だとボランティアを募る告知をご覧になっているでしょう。その告知を心に留め、それらの奉仕活動の一つにボランティアとして参加することを祈りながらご検討ください。

私たちはOICの平和と調和を維持するために努めるべきです。どんな集団にも、性格の不一致や罪深い態度は存在します。クリスチャンとして、私たちはこうした否定的な衝動を超越し、調和のとれた関係を維持するよう努めるべきです。数週間前の説教で、ヤコブの手紙3章と4章について語ったことを思い出してください。教会内の争いや対立、そし

て、その解決方法についてです——解決の第一歩は、自らの心を省み、きよめることから始まります。なぜなら、それはあなたの態度や言葉に表れるものに影響を与えるからです。そしてヤコブ 5:16a – 「ですから、あなたがたは、互いに罪を言い表わし、互いのために祈りなさい。いやされるためです。」兄弟姉妹に対して、言葉や行いで罪を犯したことを告白するとき、霊的、肉体的、感情的な癒しが得られます。

そして、私たちの教会契約の最後の行において、私たちはあらゆる方法でOICの物質的・霊的福祉を促進することを約束します。物質的福祉は、財政的貢献と、ここにある奉仕活動の一つへのボランティア活動によって促進します。霊的福祉の促進には、キリストが求める高い基準に自ら応え、兄弟姉妹にも同じように励ますこと…そして教会の外にいる人々に手を差し伸べ、福音を分かち合うことで、彼らも神の家族に迎え入れられるようにすることです。

大阪インターナショナルチャーチの会員契約に関する私の解説はこれで終わりです。会衆の応答をもう一度読み上げましょう：

大阪インターナショナルチャーチファミリーの会員である私たちは、あなたを私たちの代わりに歓迎します。あなたのために祈り、できる限りあなたの支援に努めます。この地上におかれている間に、そして天国においての聖徒たちとの最高の交わりにむけて、神が私たちを、愛し愛され、仕え仕えられ、祝福し祝福されるよう整えて下さるように祈ります。」

当教会に新たな会員が加わる際、既存のOIC会員は彼らを歓迎し、祈りを捧げ、必要が生じた際には支援することをお約束します。最後の文節では、この地上に生きる間、私たちは天における聖徒たちの完全なる交わりに向けて備えられていると記されています。私たちはこの地上で不完全な人生を送っていますが、日々イエスに似た者へと成長するよう努めるべきです。

本日のメッセージでは、当教会の会員契約について考察しました。大阪インターナショナルチャーチの兄弟姉妹の皆様には、地方教会の会員であることの意義を示すこれらの理想を深く考え、その理想に沿って生きるよう努めていただきたいと思います。

今日のメッセージを、キリスト教共同体における生活をうまく要約していると思う一節で締めくくりたいと思います。コロサイ人への手紙 3:12-14 (NASB) – 「12 それゆえ、神に選ばれた者、聖なる、愛されている者として、あなたがたは深い同情心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。13 互いに忍び合い、だれかがほかの人に不満を抱くことがあっても、互いに赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたもそうしなさい。14 そして、これらすべての上に、愛を着けなさい。愛は結びの帯として完全なものです。」